



輝け聖高生！



第41回定期演奏会 吹奏楽部
H27.6.6



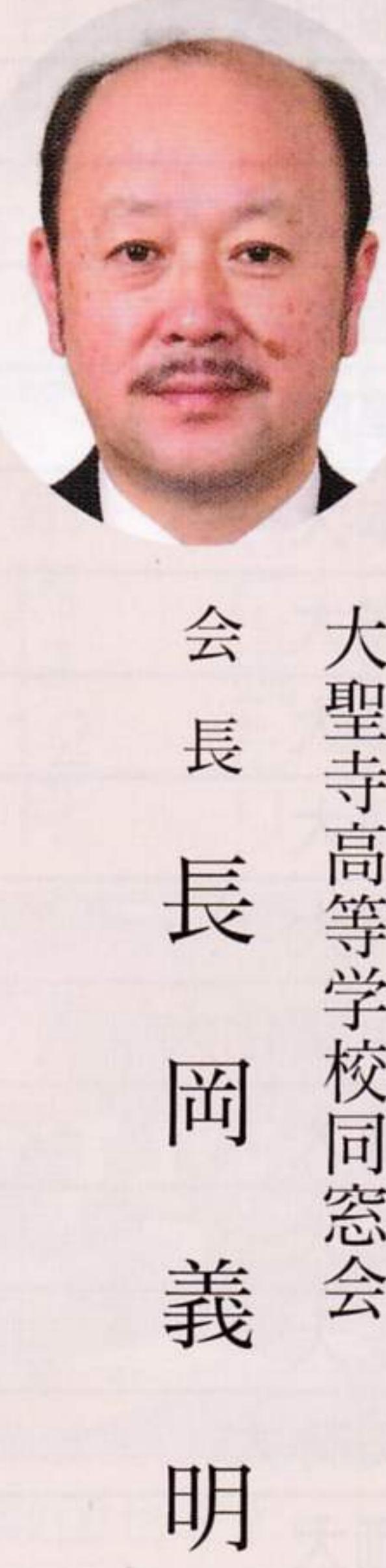
詳細は4頁に

ところで、今年も同窓会総会が近づいて来ました。8月8日（土）長生殿にて行ないます。若い同窓生が出来ればグループで参加され、総会を盛り上げていただく事を期待しています。

さて、会報もリニューアルして3回目の発行となりました。編集委員会も、皆様に興味を持つて楽しく読んでもらえる様に、色々なアイディアを出し合ながら、1ページ毎大切に製作しています。同窓会本部役員一同も、母校と同窓会の発展の為に精進、努力をして行く所存です。これからも編集委員会共々、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

盛夏の候、同窓の皆様には益々ご健勝のことと、お喜び申し上げます。平素は同窓会活動にご理解とご協力を頂き、心よりお礼申し上げます。

さて私も会長に就任して早一年が経とうとしています。この間、近畿聖高会総会への参加、本部では中学生英語暗唱大会・卒業式・入学式と出席させて頂きました。中でも平成26年度の卒業式はとても感動致しました。式も終り、卒業生がクラスごとに退場する時、全員で「3年間ありがとうございました」と大きな声で挨拶をして行く姿に、「聖高生まだまだいけてる、すばらしいぞ」と拍手を贈りました。「ありがとう」の言葉を大切に、今後もがんばってほしいと思います。

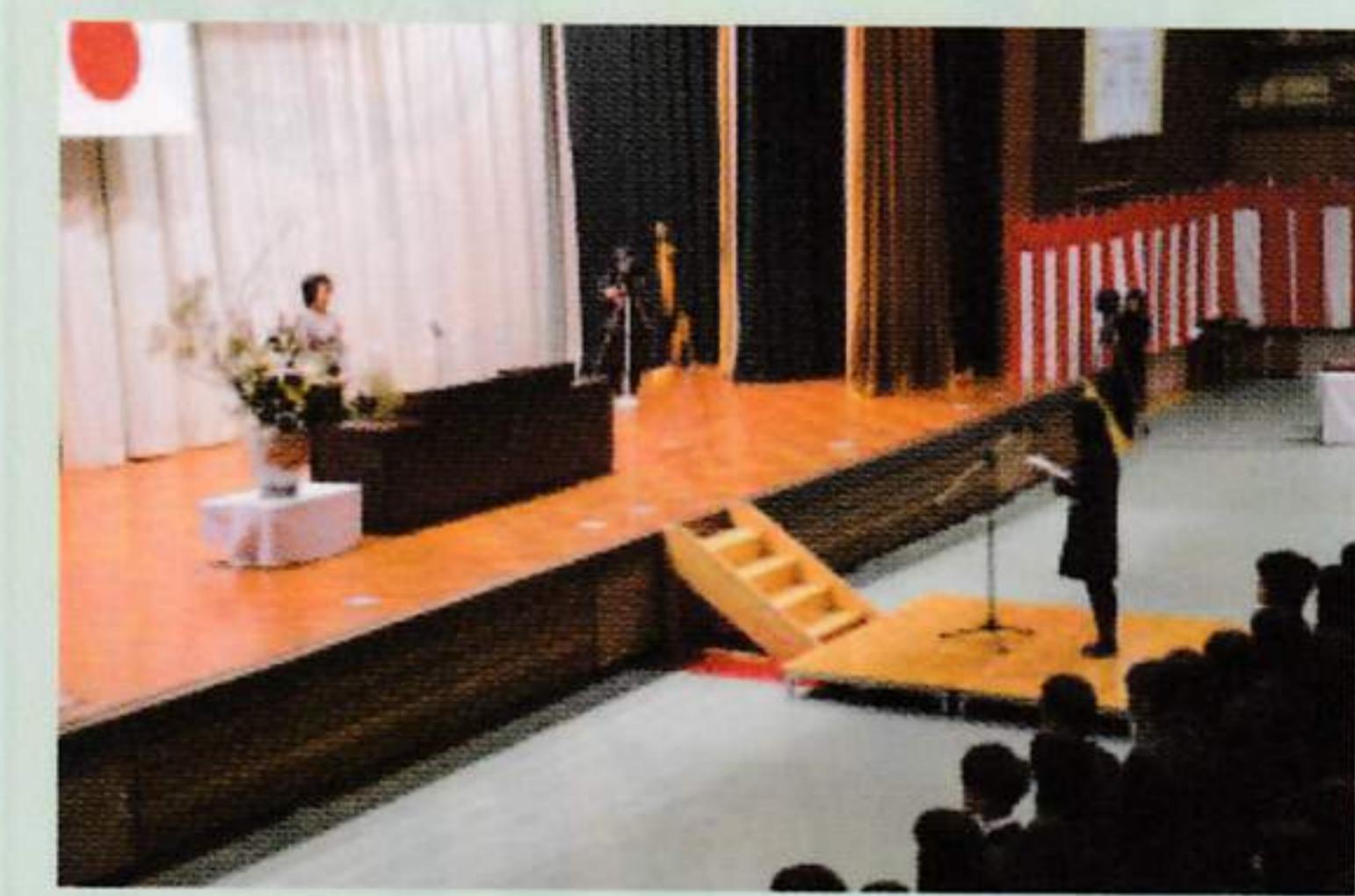


大聖寺高等学校同窓会
会長 長岡 義明

ご挨拶

平成26年度

卒業証書授与式



平成27年3月3日(火)
午前10時より本校第2体育館にて、第67回卒業証書授与式が厳粛な中、執り行われました。

同窓会からは長岡義明会長、竹田永一顧問が出席されました。鈴村校長

からは「自らの人生を真摯に、時には大胆に歩んで行つて欲しい」との式辞、長岡会長からは「夢を持ち続け、自分のために精一杯生きてほしい」と激励の祝辞が、卒業生に贈られました。これらの言葉を良き励みとして、これから的人生を送つて欲しいと思います。

最後に、一同で仰げば尊しと螢の光を齊唱し、223名が高校生活の思い出を胸に、巢立つていきました。

一方、経済環境の厳しさから、関東・関西など大都市部の私立大学を目指す生徒は、減少傾向です。

反面徹底した就職支援体制をアピールする、金沢工業大学や金沢星稜大学、医療系の専攻を充実させた金城大学など、石川県内の私立大学を受験する生徒は、増加傾向にあります。



平成26年度 卒業生の大学合格状況

本年3月、卒業生223名を送り出しました。本年度から、大学入試センター試験における理科の取扱いが大きく変更され、学習面での負担が増えたこともあり、学校現場は対応に苦慮しましたが、担任や教科担当の先生方の粘り強い指導の下、生徒たちは最後まで頑張り、浪人生3名を含め54名が国公立大学に合格しました。

金沢大学合格者9名、富山大学11名など、38名が北陸3県の大学に合格しましたが、一方では自分が望む学部・学科を目指して東北・

関東・中国地方の国公立大学に進学する生徒も多数に及びました。

り出しました。本年度から、大学入試センター試験における理科の取扱いが大きく変更され、学習面での負担が増えたこともあり、学校現場は対応に苦慮しましたが、担任や教科担当の先生方の粘り強い指導の下、生徒たちは最後まで頑張り、浪人生3名を含め54名が国公立大学に合格しました。

平成27年3月31日現在

国・公立大学	福島大	2	宇都宮大	1	埼玉大	1	千葉大	1	新潟大	2	国立大
	上越教育大	1	富山大	11	金沢大	9	福井大	5	愛知教育大	1	35名
	鳥取大	1	高崎経済大	1	富山県立大	3	石川県立大	3	石川県立看護大	3	公立大
	金沢美術工芸大	1	福井県立大学	3	都留文化大	2	愛知県立大	1	兵庫県立大	1	19名
	島根県立大	1									計54名
	早稲田大	1	武蔵野大	1	愛知大	3	同志社大	2	摂南大	1	
私立大学	法政大	1	神奈川大	1	日本福祉大	3	立命館大	2	四天王寺大	2	
	東京理科大	1	関東学院大	1	名古屋外国語大	1	龍谷大	4	関西外国語大	4	
	明治学院大	1	洗足学園音楽大	1	愛知学院大	3	京都産業大	23	関西福祉科学大	4	
	國學院大	1	横浜薬科大	2	愛知工業大	1	京都外国語大	2	関西国際大	1	
	日本大	3	千葉工業大	2	愛知淑徳大	3	京都女子大	5	神戸学院大	3	
	東洋大	1	秀明大	3	中部大	3	同志社女子大	3	神戸女子大	3	
	専修大	2	金沢星稜大	33	名古屋女子大	4	佛教大	4	甲南大	2	
	東海大	5	金沢工業大	55	名古屋学院大	3	京都橘大	8	甲南女子大	1	
	帝京大	4	金城大	37	名古屋文理大	3	京都精華大	2	びわこ学院大	1	
	大東文化大	3	金沢医科大	1	大同大	2	関西大	8	聖泉大	1	
	拓殖大	1	金沢学院大	30	東海学園大	6	近畿大	2	奈良大	1	
	立正大	1	北陸学院大	19	東海学院大	1	大阪工業大	1	天理大	1	
	大正大	1	北陸大	21	岐阜女子大	4	大阪学院大	1	福岡大	1	
	桜美林大	1	仁愛大	7	朝日大	1	大阪大谷大	1			計
	創価大	1	福井工業大	15			阪南大	2			394名

は北陸三県の大学

祝

平成27年度入学式

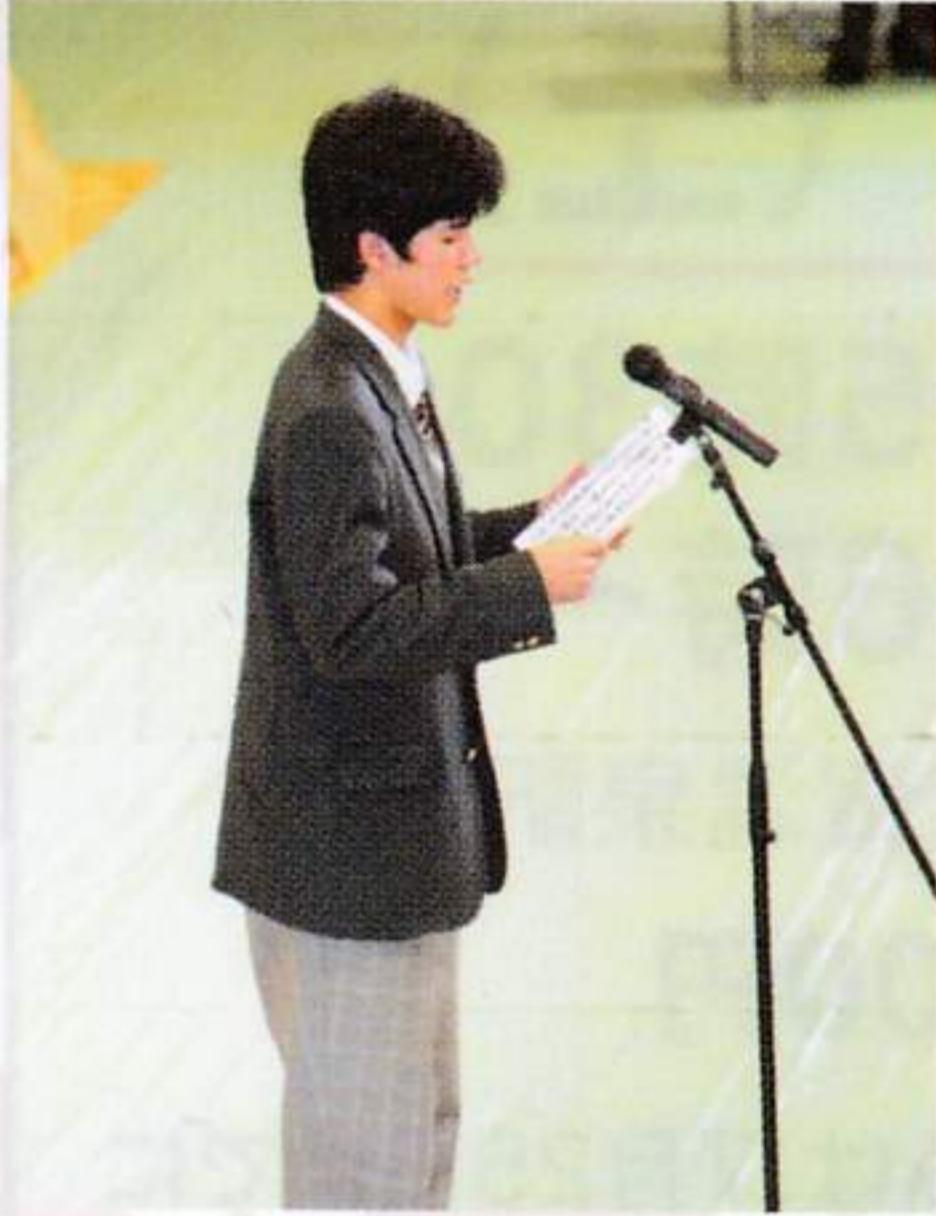
4月8日（月）午後2時より、本校第2体育館にて入学式が挙行されました。同窓会からは、長岡同窓会長と竹田顧問が来賓として出席されました。國家斎唱、吹奏楽部による校歌の合唱に続き、新入生に向けて鈴村校長から「自分の目標実現のため、果敢にかつ全力で課題に挑戦して欲しい」とのことばが贈られ、PTA会長吉田浩隆氏から「高校生活で自主自律の精神を養い、一日一日を有意義に過ごして欲しい」とのことばをいただきました。

新入生代表として錦城中学出身の木越菜々恵さんの宣誓、生徒会長清水友輝君の歓迎の言葉が述べられ、閉会となりました。

今年度は、二百名の新入生を迎えることになり、初心を忘れず、本校において充実した高校生活を送つて欲しいと願います。

各中学校別入学者数は、錦城53名、橋立6名、片山津15名、東和23名、山代23名、山中12名、南部23名、松陽11名、根上10名、御幸6名、芦城9名、丸内3名、寺井2名、国府3名、美川1名となっています。

昨年に比べ、山代・山中中学校からの入学者数が大幅に減少しました。人口減や交通網の変化など、各中学からの入学者の割合も以前に比べて変わつてきているようです。



生徒会長 清水友輝君の歓迎の言葉



新入生代表 木越菜々恵さんの宣誓

新企画

校探訪

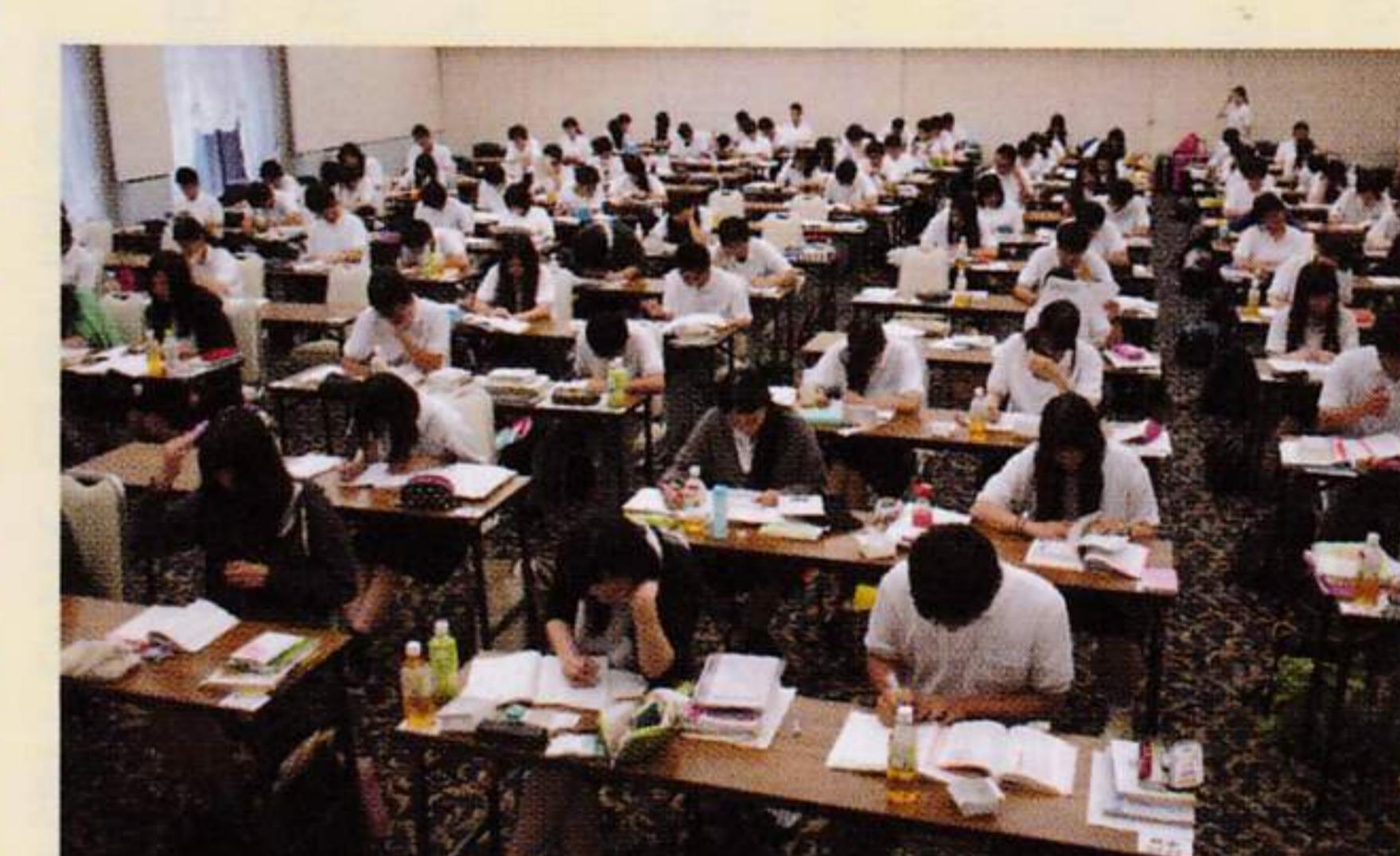
Part-1

5月12日、中間テストの始まった日に、同窓会報編集委員の二人（萬谷 昭51卒、敷田 昭53卒）が母校を訪ね、進路指導主事の新本欣悟先生に大聖寺高校の進路指導について、お話を伺いました。

Q・大聖寺高校に赴任されて、何年になられますか？
A・8年です。ここ2年、進路指導を担当しています。

Q・大聖寺高校の進路指導の特長は？
A・一言で言えば、「集団意識を高めて頑張らせる」ということです。それを古いと言われる人もあるかもしれません、私は伝統の良さだと思っています。

Q・もう少し詳しく聞かせて下さい。
A・例えば、2年生の冬休みと、3年生の夏休みに学習合宿を行っています。参加生徒は、期間中1日12時間、集団で勉強に集中します。また、毎年3年生の部活の終わる6月頃から、図書館2階の多目的ホールを、放課後と土・日曜日に解放し、生徒が静かに学習できる場を提供しています。100人程度入れる室内は多くの生徒が利用し、私語もなく学習に没頭しています。



学習合宿のようす

Q・最近の進学状況にはどんな特長がありますか？
A・三者面談をすると、8割の家庭で国公立大学を志望されます。経済的理由が大きいと思います。このことは、進学予定者の40%近くが予約制の大学奨学金を申し込むことからも裏付けされます。

従つて、近隣の国公立大学に合格が難しい場合は、遠方の国公立大学を志望するより、県内の私立大学を目指す傾向も高まっています。自宅から通えれば、経済的負担が少なくて済むからです。

そういった中で県内の私立大学は、就職指導に力を入れていることも、評価されているようです。

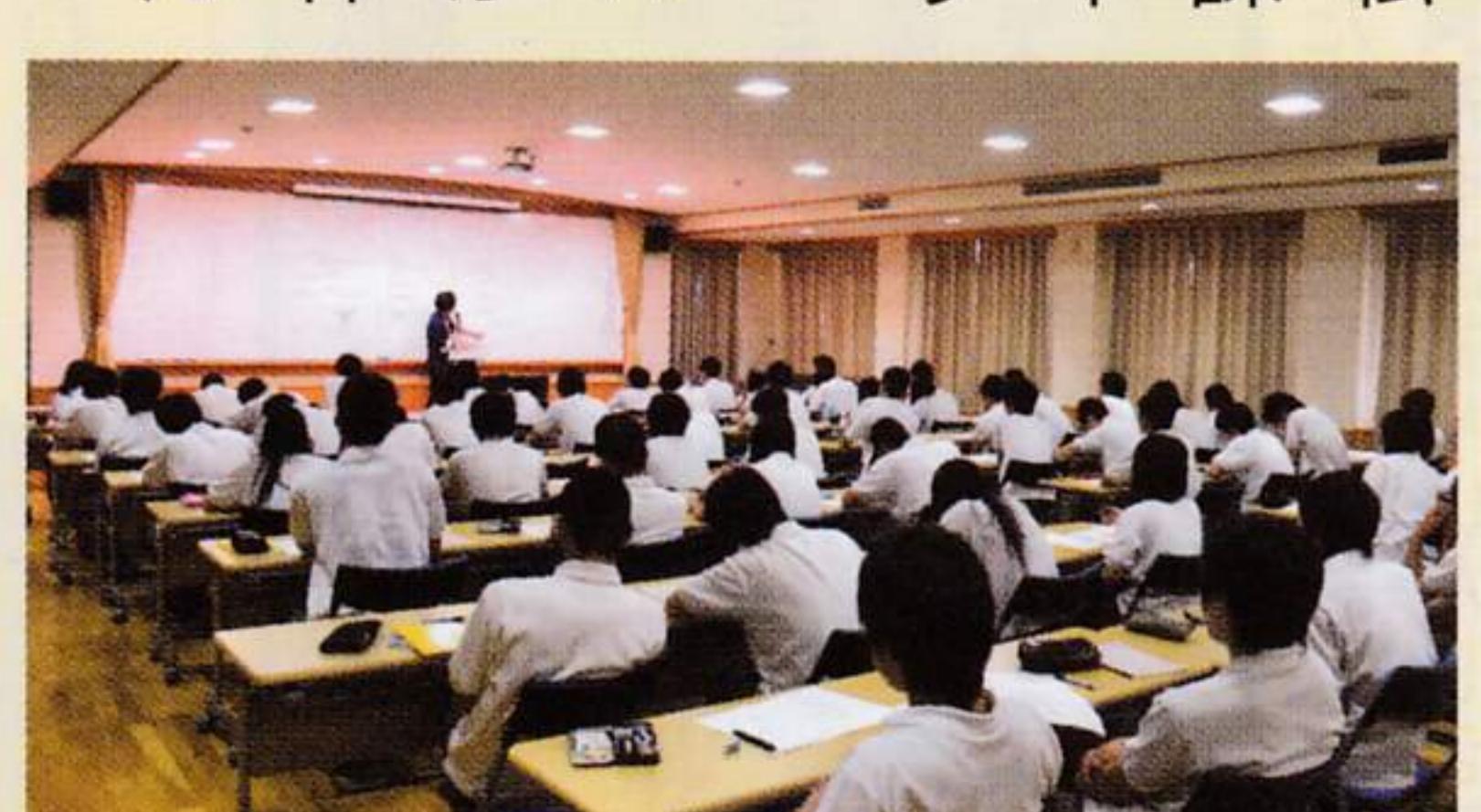
Q・最後に、この会報を読まれる同窓生に一言お願

いします。
A・本校に入学された生徒は、大事に育てます。入学時の学力を出来る限り伸ばして、生徒の可能性を広げることが、私たちの仕事だと思います。

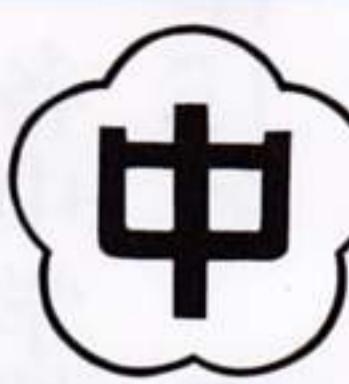
少子化で生徒数は減少しているですが、これからも加賀地区の拠点校として、地域の教育に貢献していきたいと思います。



金沢大学教授による授業



英数国セミナー



平成27年度 大聖寺高校同窓会 総会・懇親会

8月8日 (土)

**総会 午後5時30分
懇親会 午後6時~**

場所:長生殿(加賀温泉駅前)

会費 5,000円

準備の都合上参加申し込みは、7月25日までに事務局(下記)までお願いします。

TEL (0761) 73-2771
FAX (0761) 75-7117
E-mail:info@seiko-ob.org

平成
26年
度

総会・懇親会に参加して

平成11年卒 島野 麻由子

今回の同窓会総会・懇親会に参加しようと思ったのは、昨年は参加出来ず、今年は幹事で、先輩の代と後輩の代とに会えると思い、同窓会のお手伝いに参加いたしました。ところが残念なことに、私の代は私一人だけでした。同級生に会えると楽しみにしていたのに、本当に残念でした。しかし、先輩方と楽しく過ごす事ができ、また、3年生の時に担任だった西田先生にもお会い出来ました。

平成の年度卒の岩城さんの「和太鼓OTO sound」の演奏も素晴らしい、思わず立ち上がって拍手をしました。OGの中井さんの「南京玉すだれ」の時は、会場のみなさんが一つになって、掛け声をされたり、時には笑い合ったりして、なんだか昔の聖高祭を思い出しました。その時、気付きました。この同窓会は、この会場にいるOBのみなさんが一つになつて、毎年毎年作り上げているんだなと…。

今年は、私達の平成11年卒が主幹事です。今回参加して知ったのは、「この同窓会は幹事のみ参加できるのではなく、幹事以外でも卒業生なら誰でも参加出来る」ということです。私は今まで、幹事のみが参加できると勘違いをしていました。ですので、今年の同窓会は、みなさん沢山のお友達や先輩、後輩をお誘いの上、ご参加ください。そして、素晴らしい同窓会にしましょう。副幹事にあたる、平成12・13年卒のOBの方々も、ご協力をよろしくお願ひ致します。

■副幹事 平成13年卒	菅村 洋平	中田 知里	濱谷 敏之	大田 亜弥	渡部 勇氣	山崎 香織
春木 伸彦	鮎池亜朱美	平石誠太郎	藤澤 幸子	桂田 武治	山崎 昌美	
瀧田 昌弘	吉田 美穂	北出 一成	橋出 千春			
春 小荒 善宣	山谷綾希子	駒谷 肇	西山 夏希	前田 雄生	後藤 直美	
古 宅 亮一	藤山さやか	下口 恭平	空 祐美子	中川 始	橋本 恵	
川端 淳也	北野 那美	増山 隆宏	荒川 裕子			

※お名前は、卒業時の名前で表記しています。
※事前に連絡が取れなかつた方が、含まれています。どう承下さいます。



昨年の懇親会より

お知らせ

近畿聖高会 第22回 総会・懇親会

日 時 平成27年9月5日 (土)

受付 12時30分 開会 13時~17時30分

場 所 ホテル「ホップイン」アミング

(JR尼崎駅改札口を出て左へすぐ)

会 費 同窓生10,000円 (年会費2,000円を含む)
同伴者 八,000円

詳細は近畿聖高会HPで

聖高生の活躍

◆テニス競技

女子シングルス 優勝 山田奈津子(2年)
女子ダブルス 第3位 桶川 美樹(3年)
山田奈津子(2年)

◆弓道競技

女子団体 優第2位
女子個人 優勝 平野 朱莉(1年)
弓道競技 優勝 湊 明香理(2年)

◆報道部

創作ドラマ部門 最優秀賞 「グリードはおまえだ!」

研究発表部門 優秀賞 「式典スクリーンの研究」

テレビドキュメント部門 優秀賞 「リラジオドキュメント部門 優秀賞
「始動! 聖高ソフトボール部」

◆平成27年度 石川県高等学校放送コンテスト

夏の高校野球県大会は7月11日より行われます。



■平成27年度 石川県高等学校総合体育大会

近畿聖高会会長を務められた中西道彦氏(昭35年高卒)のご逝去にあたり、謹んでご冥福をお祈りいたします。

OBだよい

あれから五十余年、古希を迎えて

昭和39年卒 北濃 祥三
(東京聖高会HP担当)

今春、北陸新幹線が金沢まで開業し東京と加賀との時間・距離が一段と縮まり、NHKでは連続テレビ小説「まれ」が放映され、石川県が注目されている。そのような年に戦後70年、私達第16回卒業生（昭和39年卒）は古希を迎えました。古希とは「七十まで生きる」とは古来稀という中国唐時代の詩人杜甫の詩句に由来する」とあるが、今日では「一〇〇才が稀と言つていい長寿時代になってきた。今回、関東在住の私に寄稿を依頼され、近況等を思いつくまま書きました。

高校時代の楽しい思い出といえば、聖高祭と夜行列車で九州への修学旅行であった。3年間は恋愛御法度、進学したらしくともやれる」と言われ、ひたすら進路をじうじうか悩みつつ過ごした、3年間でした。

あれから五十余年、誰もがスマホ携帯を持ち、親も知らない画面上の交流サイトに時を選ばず夢中になれる時代である。だが、スマホ無き時代を振り返り、直接素顔を見て話す心のゆとりも欲しい。

大学卒業後は、石川県内で就職し暮らしことを考えたが、自分の人生は関東へ導かれ根を下ろした。あのミズゴロク、アカラ、メギスといった魚は味わえなくケナルイ。改めて故郷の良さを自覚した。

そのような中、関東には大聖寺高校同窓生が千数百名も在住しており、昭和63年頃に同窓生の



会を作ろうと諸先輩の努力によつて「東京聖高会」が発足した。3年毎に総会・懇親会あり、各学年同期が集合し新たな繋がりを生み、忘れかけていた方言や思い出が蘇る。

私が還暦になる頃、東京聖高会ホームページを立ち上げてくれと頼まれ、素人ながら制作管理して10年になる。特にこれから、次世代を担う戦後～平成生まれの同窓生の方々が東京聖高会に参加して欲しい。心のゆとりの場となるような情報があれば、発信していきたい。

古希を迎えて、今年10月に昭和39年卒有志による古希の会を開催します。

「じつしょに伊勢で祝いましょう!」詳細は、「東京聖高会同窓会検索」にてご覧になれます。

人生を振り返つての宝物
聖高魂!

昭和61年卒業 赤澤 純代（久藤）
(大学准教授)

今年度より、大聖寺高校の校医になりました赤澤です、よろしくお願ひいたします。

大聖寺高校を卒業し金沢医科大学に入學、卒業、研修を経て東京大学第三内科で勤務。妊娠出産を機に母校に戻り、13年前に石川県初の女性外来を開設し現在、総合診療センター女性総合外来で勤務しています。

卒業後30年が経ち、記憶も不確かで同級生の川瀬さんに聞きながら、思い出と皆さんへの思いを書きさせていただきます。

1985年は、日本航空機の墜落事故、フ

アミコンのスーパーマリオが発売、バブル全盛の時代でした。

印象深かった聖高祭について、お話しします。

自分の団は3団で優勝して嬉しかった思い出があります。昔は6団編成で、

自分が選抜になると想しながら…。(笑)



アミコンのスーパーマリオが発売、バブル全盛の時代でした。印象深かった聖高祭について、お話しします。そこで最大限努力する時期なのだ！それによってこの短い3年間が将来の人生を大きく左右するのだから…。と。

現在、48歳人生の折り返し地点に来て父の言葉がよみがえります。もっと若い時期に人生を見通せる日があつたら、違う人生を歩んでいたのだろうと妄想しながら…。(笑)

私は、高校時代に学んだチーム力と、企画力、現代アートのテーマが多かつたため、逆転の発想で「大正ロマン」をテーマに衣装は、カフエの女給のイメージです。音楽は、当時の流行のベストヒットJSAで流れている様な曲が、オシャレでした。

大人になつて振り返ると、聖高祭では企画力、独創性、そして先生も巻き込んで全学年分け隔てなく全員で掲げた目標に向かい、一体感を作れるチーム力を身に着けました。教科書にはないこの過程を体得した事は、生涯仕事をしていく上で

の宝となりました。

同窓会が開催され、四半世紀ぶりに再会してなお時空を超えて、一瞬に心が通じ合う良い仲間であります。

他校にはない個人を尊重し、わけ隔てなく仲良くできるスタイルは現在も引き継がれていると感じます。女性にしか子供が産めないので、社会の元気である！世界が注目している少子超高齢化の、逆富士山型人口ピラミッドとなる2025年問題の解決にも、女性の力が不可欠になってしまいます。女性にしか子供が産めないので、子供を産み育て、幸せに自己実現できるインフラが地方にも必要ですね。

戦後70年間日本の復興を支えたのも、24時間戦う男性を支える女性の存在があつたからだと思います。

故（父）久藤豊治は、大聖寺から素晴らしい人材が生まれることを切望し、大聖寺高校が発展することの案件につき、熱弁をよく聞きました。生徒が、夢を持って挑戦する人生を応援する、地域での活動のネットワークが作られます事をお祈り申し上げます。



同窓会活動について

平成11年卒

曾谷 直樹

(大学職員)

OBだよりの執筆依頼をいただき、二つ返事で引き受けたのですが、いざ書こうと思つたら困りました。大学時代は帰省のたびに同級生同士でよく遊んでいましたが、働き始めたら疎遠になつてしまつたことで書く内容が思い浮かばず、全く筆が進みませんでした。

まずは、高校時代を思い出すことから始めました。高校時代は、模試・補習・宿題などの勉強が大変だったなど。1年時から多くの模試を受け、3年時はほぼ毎週受けている記憶があります。部活が終わり聖高祭以降は、人生でこれ以上勉強することはないだろうと思うほどの勉強漬けでした。ただ、大学で働くようになり、先生方も苦労されていたことを知りました。

とりわけ向出先生は、独自に開発された世界史の語呂合わせで、参考書を出版できるのではないかと思っています。この場を借りて、感謝を申し上げたいと思います。

一人では勉強が大変だったことぐらいしか思い出せないため、久しぶりに同級生に会うことになりました。久しぶりすぎて近況を探りながら会話が始まつたのですが、杯が進むうちに、次第に昔へと戻つていきました。

部活動は硬式テニス部で本気で頑張つていたこと、聖高祭ではバーバーガールの仮装をし、夜遅くまで打ち上げをして先生方に追い回されたこと、恥ずかしくなるような恋愛話など…。一人で一日考えるよりも、飲ミニュニケーションが一番であり、やはり同級生との親睦

は大切だと実感しました。

さうに、昔を思い出してきたことで母校を懐かしく思い、帰省の際に訪ねてみました。

また、後輩生徒たちはどんな活躍をしているのか、インターネットで検索するまでに至り、母校・後輩への思いが少し高まつた気がします。

今春、自身に人事異動があり、大学の校友会(同窓会)事務局を担当することになりました。まさにこの聖高同窓会のようにOB・OG名簿をまとめたり、会報を作成したり、総会を企画・運営したり、基金を集めたり。

今回の執筆を通じて、同窓会活動には「母校・後輩生徒をまとめる」という意味があります。部活が終わり聖高祭以降は、高校生活を思い出すこと」、「同窓生同士が親睦すること」、「母校・後輩生徒を支援すること」が重要ではないかという気づきがありました。学びの機会を与えていただき、編集委員の皆様にも感謝を申し上げたいと思います。

同窓の皆様におかれましても、高校時代を思い出し、同窓生同士で親睦し、できれば母校・後輩のために何ができるかを考えてみてはいかがでしょうか。

だからこそ感じることの一つです。部活動や受験勉強、聖高祭など苦楽を共にしてきた友人達は、今でも駆け引きのない関係でいられる大事な存在です。また、社会人になってから、先輩の方々と出会う機会が増えました。

同じ「聖高出身」と聞けば、自ずと親近感がわき、なんだか嬉しくなります。これは私だけではないと思います。今回の寄稿の機会を

いただけたのも、あるOBの方との出会いがきっかけということもあり、これも大聖寺高校で得た「縁」なんだなあと感じました。

最後にこの縁により、これから起りうる先輩の方々との出会いを楽しみにしつつ、この同窓会報をご覧になつておられる、当時お世話になつた先生方、同級生、先輩、後輩の方々とのこれまでの出会いに感謝して、締めくくらせていただきます。ありがとうございました。

当時を振り返つて思つゝと

平成20年卒

山口 聰太

(会社員)

私は平成20年に卒業し、今年で社会人として4年目となり、現在は福井県にて勤務・生

活しております。

今回会報寄稿のお話をいただき、これを機会にと実家の棚の奥からアルバムや文集などを引つ張り出し、高校生活を振り返ることにしました。すると、あの時の経験や思い出が、今の私の基礎となつてしまふことに気がつきました。当時、私は野球部に所属していました。楽

しい思い出もありますが、つらい経験もあり、今でも後悔していることがあります。

しかし、その苦い経験があつたからこそ、社会人になり、困難にぶつ

かつたときに「あの時のような後悔は、したくない」と立ち向かう気構えの仕方が身についたように思います。その他にも部活や学校生活で得たことは、今の私の中に生きています。

また、高校生活において得た「縁」も、今並びに先生方には、本当に感謝しています。

まだからこそ感じることの一つです。部活動や

受験勉強、聖高祭など苦楽を共にしてきた友

人達は、今でも駆け引きのない関係でいられ

る大事な存在です。また、社会人になつてか

ら、先輩の方々と出会う機会が増えました。

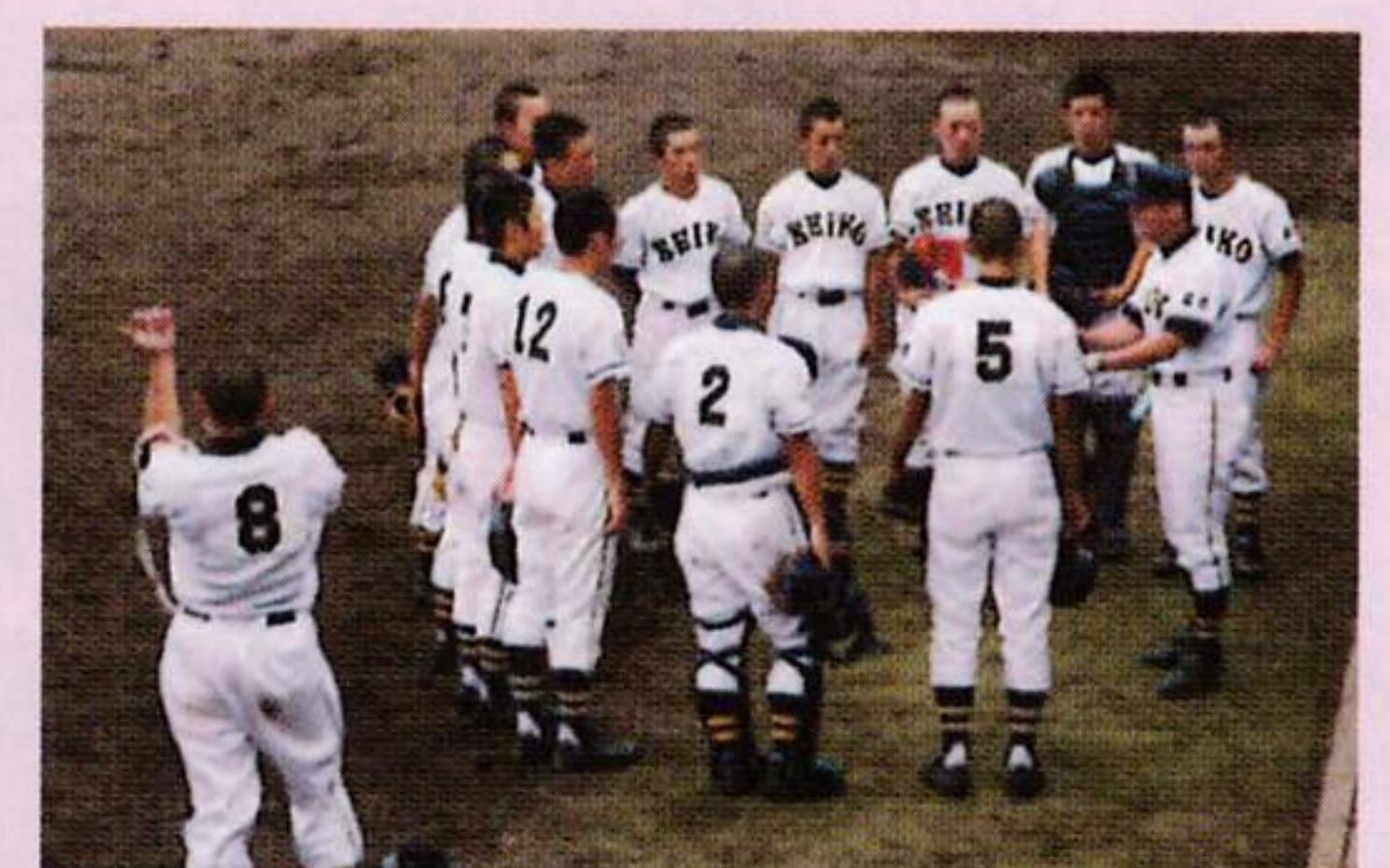
同じ「聖高出身」と聞けば、自ずと親近感がわき、なんだか嬉しくなります。これは私だけではないと思います。今回の寄稿の機会を

同窓生の皆様へ

同窓会・クラス会を開催された方々の、記事を募集しております。手書き・FAX・メール、いづれもかまいません。よろしくお願いします。

本年度、数十年ぶりにソフトボール部が、復活しました。当時の部員の方で、思い出などございましたら、是非お寄せ下さい。

尚、紙面の都合上、掲載出来ない場合がございます。ご了承下さい。



卒業アルバムより

編・集・後・記

大聖寺高校を卒業して二十数年の私ですが、突然編集のお手伝いのお話があり、右往左往している間に、早くも第3回目の「聖流」の発行となりました。

今回の会報は新しい試みとして、先生方にインタビューさせていただきました。百周年事業の時に作られた多目的ホールの活用、トップレベルの進路指導室の充実…。私のいた頃の大聖寺高校から、どんどん進化している事に、驚き感動しました。今後も、こういった「今の高校の様子」をお知らせできればと思います。また、このような機会をいただき、大変感謝しております。

最後に、発行にあたりましてご協力くださいました方々に、厚くお礼を申し上げます。

最後に、発行にあたりましてご協力くださいました方々に、厚くお礼を申し上げます。

**石川県立大聖寺高等学校
同窓会 事務局**
〒922-8510
石川県加賀市大聖寺永町33-1
(鴻志館内)
TEL (0761) 73-2771
FAX (0761) 75-7117
月~金曜日(水曜日休)10:00~16:45
E-mail:info@seiko-ob.org
<http://seiko-ob.org>
学校 TEL(0761) 72-0054
大聖寺高校 同窓会 検索